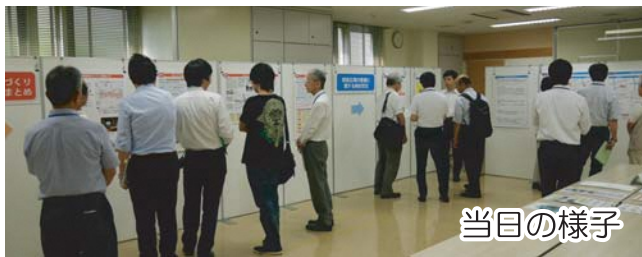


# 武蔵関駅周辺地区のまちづくりに関する オープンハウスを開催しました



当日の様子

開催日時	平成 29 年 6 月 23 日 (金) 17:00 ~ 20:00 平成 29 年 6 月 24 日 (土) 10:00 ~ 13:00
開催場所	関保健相談所 1 階 集団指導室
来場者	69 名 (2 日間延べ人数) 23 日 (金) 29 名 24 日 (土) 40 名

推進会の検討結果を受けた  
具体的な駅前広場の配置案として  
5 つの案をお示しました。



練馬区では、武蔵関駅前まちづくり推進会の検討結果と、それを受けた区の駅前広場の検討状況などについてご説明するため、説明パネルを展示したオープンハウスを開催しました。

当日は説明パネルの展示とあわせ、担当者が対話形式による説明を行い、まちづくりに関するご意見を伺いました。

## 今後の武蔵関駅周辺のまちづくりに関する主なご意見 (抜粋) <当日アンケートより>

交通環境全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅南口は交通整理員がいなくて危ない状態だ。バスを待つ間もあぶない。</li> <li>・ 関町庚申通りは歩道が狭く、車との距離が近いので恐怖を感じる。</li> <li>・ 関町庚申通りの開かずの踏切を何とかしてほしい。</li> <li>・ 一方通行や商店街通りの拡幅等、利便性のある道路を整備してほしい。</li> </ul>
駅前広場の必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅前広場はもちろん必要だ。大泉学園駅は駅前広場が整備されて随分よくなった。</li> <li>・ 高齢者が増えると今以上に公共交通の必要性は出てくるため、そのためのスペースが必要。</li> <li>・ 都市計画道路、駅前広場は防災上、交通安全上必要。1日も早く事業化してほしい。</li> </ul>
駅前広場の配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石神井川と一体での整備ができるとうい。</li> <li>・ 補助 230 号線につけて配置するのは良い。</li> <li>・ 高架下を駅広に使えと良い。</li> <li>・ 経済性だけでなく、本当によいものは何かで決めてほしい。</li> </ul>
駅前広場の機能やデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅前広場への車の流入を避け、自転車の乗り入れも禁止すべき。</li> <li>・ 駅前ですし休める様な空間があると良い。</li> </ul>
鉄道・駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ かつて西武鉄道が武蔵関駅周辺の水没で使えなくなったので、高架で整備を進めてほしい。</li> <li>・ 高架化による連続立体交差は景観上よくない。</li> </ul>
補助 230 号線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南北方向の道路が少ないので作ってもらった方がよい。</li> <li>・ 広い道路で街は発展するのだから都市計画道路は必要である。</li> <li>・ 補助 230 号線の整備について検討してほしい。地域を絞った組織の立ち上げを望む。</li> <li>・ 補助 230 号線はまちが分断されるので一番困る。車道を広げると環境を損なうことになる。</li> </ul>
石神井川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石神井川の側道は部分的に分断されていて歩きづらい。</li> <li>・ 石神井川を活かすならば親水空間や桜並木の整備などがほしい。</li> <li>・ 武蔵関駅近くを通る石神井川の幅員を利用し、部分的にフタをしてうまく使えないものか。</li> </ul>
商店街の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今のやり方では賑わっていかない。高齢化が進むと坂の下の駅前に買い物には行かない。</li> <li>・ 駅前の商店街に賑わいがあると嬉しい。</li> </ul>

お問い合わせ先 練馬区 都市整備部 新宿線・外環沿線まちづくり課  
電話：5984-1278 (直通) 担当: 小板橋・齊藤・大藤

# 武蔵関駅まちづくり ニュース

平成30(2018)年3月

## 西武新宿線立体化促進大会が 開催されました!



▲ 前川区長の挨拶の様子

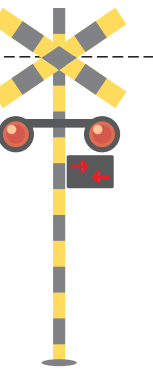


▲ 会場の様子

西武新宿線の練馬区内全区間を含む、井荻駅から東伏見駅付近の鉄道立体化の早期実現に向け、西武新宿線立体化促進協議会による「促進大会」が開催されました。大会には多くの沿線住民の方々にご参加いただいた他に、地元選出の衆議院議員、都議会議員、東京都、西武鉄道株式会社、隣接沿線区市などを来賓に迎え、盛大に行われました。

### 促進大会の概要

- 日時：平成30年1月21日(日) 午後2時30分～午後4時
- 会場：練馬区立 上石神井小学校 体育館(練馬区上石神井4-10-9)
- 内容：連続立体交差事業やまちづくりについてのこれまでの経過報告と大会決議などが行われ、誰もが安全で快適に生活できる未来に誇れるまちを築くため、鉄道立体化の早期実現に向けて区民、区議会、区が一体となって取り組むことが確認されました。
- 参加者：沿線住民など約250人



### 西武新宿線立体化促進協議会とは?

西武新宿線の立体化の早期実現と、外環の2を始めとした南北道路の整備などにあわせた沿線まちづくりの推進を図るため、区民、区議会、区が一体となって、平成27年1月に結成した協議会です。

### 連続立体交差事業とは?

道路と交差する鉄道を一定区間連続して、高架化または地下化し、多数の踏切の除却と新設交差道路の立体交差を一挙に行う事業です。

# 駅前広場の整備に関する区の方針について

区では平成24年5月に「武蔵関駅周辺地区まちづくり協議会」から提出された『武蔵関駅周辺のまちづくり提言書』を受けて、平成26年5月に『武蔵関駅周辺地区まちづくり構想』を策定し、構想の実現に向けたまちづくりの検討を進めています。その後、駅周辺の具体的な検討を進めるために設立された「武蔵関駅前まちづくり推進会」から『武蔵関駅前まちづくり推進会の検討のまとめ』（平成29年3月）が提出されました。現在、推進会の検討結果を踏まえて、区で駅前広場の位置や形状等を検討しています。

## 駅前広場の必要性

### 【武蔵関駅周辺の交通課題】

#### 鉄道・バス・タクシーなどの乗換えが不便

- バス停留所が分散しており、鉄道との乗換えが不便
- 正式なタクシー乗り場がなく、待機スペースもない

#### 駅周辺の安全な歩行空間の確保

- 南口の駅前道路にバス・タクシー・自家用車・自転車が錯綜し、歩行者には危険
- 歩道のない通りにバスが多数運行しており危険

### 【駅前広場の機能】

#### 交通空間

鉄道・バス・タクシーなどの便利な相互乗換

+

#### 環境空間

買物客や待ち合わせの人々の憩い・交流



## 駅前広場の検討の考え方

### 【交通結節機能の向上】

- 現在分散しているバス停留所とタクシー乗り場を集約する。
- 歩行者の待ち合わせスペースなどゆとりの空間を確保する。
- 現在の改札口の位置を駅の出入口として想定し、駅出入口とバス停留所やタクシー乗り場などのつながりを考慮して鉄道・バス・タクシー利用者の乗換の利便性を向上させる配置とする。

### 【安全な歩行空間の確保】

- 西武新宿線連続立体交差事業、補助230号線の整備、石神井川河川改修事業と連携し、安全な歩行空間および滞留空間を確保する配置とする。

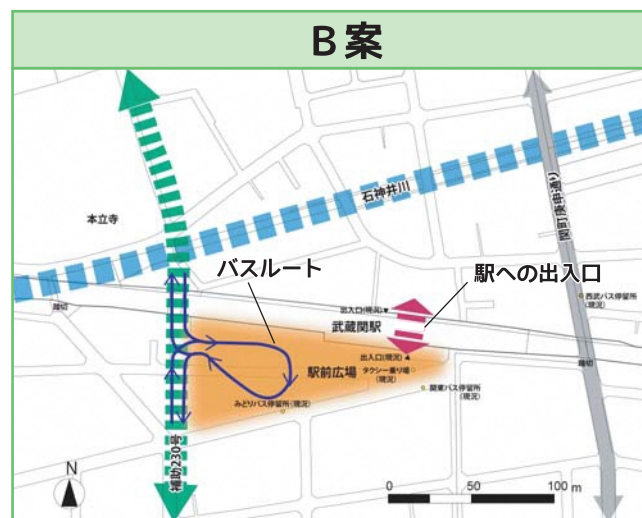
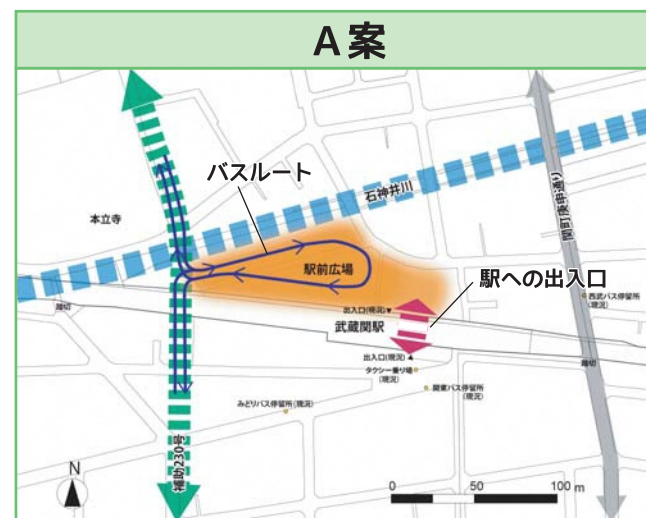
### 【景観形成への配慮】

- 武蔵関駅前の環境との調和や、地域資源を活かした地域のシンボルとなるような駅前広場を整備する。

課題解決には、駅へのアクセス道路や駅前広場を整備していく必要があります。鉄道の連続立体交差化や都市計画道路にあわせて整備することで、整備効果が高まります。

推進会での検討を基に、上記の「検討の考え方」を踏まえて比較した結果、区では下記 **A案** と **B案** が望ましい配置案と考えます。

※現在は下記2案について、協議会でのご意見も踏まえてさらに検討しています。



### 左の2つの案が望ましい点

- 駅出入口の前にある空間が広い。
- 駅前広場にバス・タクシー乗り場等を配置できるので、便利な相互乗換が可能。
- バスルートとなる都市計画道路（補助230号線）に接しており、都市計画道路へのアクセス道路の新設や、既存道路の拡幅が不要。
- 駅前広場の区域内の建物棟数が比較的少ない。
- 石神井川の河川改修や都市計画道路の整備と合わせた整備が可能。

## 武蔵関駅周辺地区まちづくり協議会を開催しています！

協議会は構想の実現に向けたまちづくりを更に推進するため、昨年に体制を見直して活動を再開し、駅前広場の整備等について検討しています。

<b>第17回</b>	<b>会長選出/駅前広場に関する区の方針について</b>
参加者 24名	日時：平成29年11月9日（木）午後7時～9時 会場：関町北地区区民会館 1階大広間
<b>第18回</b>	<b>副会長選出/駅前広場の位置について①</b>
参加者 17名	日時：平成29年12月14日（木）午後7時～9時 会場：関町北地区区民会館 1階大広間
<b>第19回</b>	<b>駅前広場の位置について②</b>
参加者 18名	日時：平成30年3月8日（木）午後7時～9時 会場：関区民センター 2階多目的ホール



### 駅前広場に関する主なご意見（抜粋）

#### <駅前広場の必要性について>

- 将来のまち全体のことを考えると駅前広場の整備は必要。
- 関町庚申通りのバス停留所は駅から離れており不便。また歩道がなくバスの乗り降りも危険なので、駅前広場を整備して安全に乗り降りできるようにしたい。
- 新たなバス停は不要だ。鉄道が立体化しても駅前は今ままで十分なのではないか。

#### <配置案（A案・B案）について>

- A案の範囲は店舗が少なく賃貸住宅が多く、棟数も少ないので、B案と比較して円滑に整備できる。
- B案は駅前商店街の多くの店舗が無くなってしまう。
- 北口は河川改修事業によりまちが開発される。駅前広場は南口で整備する（B案）ことで、駅周辺の街並みの変化が期待できる。
- 北側では河川改修事業があり、また高架になれば工事に線路北側に仮の線路用地が作られることが多いので、駅前広場は北側で整備するのが良い。
- 河川の一部に蓋をかけ、河川の土地と一体化した広々とした広場を計画できるようにしたい。

#### <駅南北の交流について>

- 高架下の土地も活用して駅前広場を整備すると、より広く使い勝手がよくなり、南北のまちが交流できる。
- 高架下を利用して駅南北の行き来ができる通路を整備できるとよい。
- A案にせよ、B案にせよ、駅前広場の整備を契機に、駅の南北がにぎやかになるとよい。

#### <その他のご意見>

- 駅前広場の整備のために立退く住宅や商店が近隣に移転できるのか等、生活再建の事も検討・情報提供が必要だ。
- 石神井川などの地域の資源を活かした、武蔵関ならではの駅前広場になるとよい。